

2013年に「恋人の聖地」に認定され、県内のデートスポットとして定着した海王丸パーク（射水市）に今春、新たな展望広場が開設される。県が総事業費約5000万円をかけて整備を進めていた。貨物船や立山連峰を眺める望遠鏡のほか、立山や日本海の対岸諸国を紹介する案内板とベンチを設置する。

*海王丸パーク

同パークの強みである海と山を望む眺望をさらに楽しんでもらい、集客拡大につなげるのがねらい。展望広場は高さ2・5メートル、広さ260平方メートル。地面にベージュ色の舗装を施す。

同パークは海王丸の進水日が1930年の2月14日（バレンタインデー）であることや、船尾のタ

「恋人の聖地」に新・展望広場



今春開設される展望広場のイメージ（県提供）

イムベル（時鐘）を鳴らすと幸せになれるとのいわれなどから、「恋人の聖地」として知られる。立山連峰と新湊大橋を背景にした海王丸の姿は「海の貴婦人」と呼ばれて人気を集めており、県港灣課は「船の姿や立山連峰をさらに楽しめるようにして、にぎわいを創出したい」としている。